



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

12 / 2014
(通算 655 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

平成 26 年度京都府放射線技師会冬季研修会演題募集

両丹地区理事 上田 一樹

時下、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とご拝察申し上げます。さて、平成 27 年 1 月 17 日(土)に開催します平成 26 年度両丹地区冬季研修会に於ける学術発表の演題募集についてお知らせします。

テーマは特に設けていませんが、日頃の研鑽、研修の成果を発表して頂ければ幸いです。発表後のディスカッション等で、出席されました方々の意見やアドバイスを交えながら、充実した学術発表の場としたいと考えております。その趣旨を汲んで頂いて、多数の演題の応募をどうかよろしくお願い致します。

また研修会終了後両丹地区活動報告会及び新年会を開催致します。

ご多忙とは思いますが、是非参加して頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 日時：平成 27 年 1 月 17 日(土) 13:00~17:00
2. 場所：舞鶴赤十字病院 東館講堂
3. 締切：平成 26 年 12 月 28 日

京都府緊急時放射線検査施設の見学も予定していますが、その他詳細につきましては、後日に発表致します。

演題の申し込みは簡単な抄録を付け、両丹地区理事上田まで下記メール宛てに応募ください。

u_hakusyondaimaoo@yahoo.co.jp

第 41 回 くらしと健康展報告

広報・渉外委員会理事 新井 喬

10 月 26 日(日)に京都府医師会館において、「第 41 回くらしと健康展」が開催されました。場所を医師会館へと移し、早くも 4 回目の開催となりました。例年の反省点も考慮して入場予約券を多めに配布した結果、天候にも恵まれ、多数の方々にご来場いただきました。今回も滞りなく無事に事業を遂行することができました。

総来場者数は 623 名で、前回より 201 名増加となり、当コーナーにおいても総計 83 名(18 名増加)の来場者がありました。放射線被ばくに対する相談数が大幅に増加しました。内容は「CT 検査による被ばく」や、また「多回数検査の被ばくは身体に悪影響を及ぼすのか?」でした。おそらく、テレビ番組や雑誌などで被ばくをとりあげられると、被ばくによるネガティブなイメージが記憶に残るのが原因の 1 つであると思います。また、パンフレットを見てからの質問や問い合わせも多くあり、高齢者が多く特に認知症や糖尿病のパンフレットに関心が集まりました。

今回、当コーナーへの来場者数は、総来場者に対する割合としては今まで以上に高くなっています。これは、私たちが被ばくに対する客観的なデータと医療における放射線利用の安全性・有益性・専門性を一般の方々に対してアピールし理解してもらい、且つ診療放射線技師という名称と職務内容を少しでも認識してもらえたい機会であったと思います。

終わりに、健康展に協力して頂いた会員の皆さまには御礼申し上げます。



公立豊岡病院ドクターヘリのご紹介

編集委員会 中島 智也

日本はその国土のほとんどが山間部で、そうした地域では病院が少なく、救急車が来ても病院までの道のりが遠いのが現状です。京都では府北部が該当しますが、このエリアをドクターヘリが担当しており、場合によっては都心部より迅速に救急医療が提供されています。それを実現しているのが公立豊岡病院但馬救命救急センターです。

豊岡病院但馬救命救急センターは専従医師 15 名、専属看護師 55 名で、昨年度実績で 18,159 名の診療を行っています。そのうち救急車受入は 3,566 件、ドクターヘリ搬送は 1,163 名、ドクターカー搬送は 713 名で、救急部からの入院は年間 3,219 名です。病院の病床が 500 床（精神科、感染症を除くと 431 床）でこの救急患者対応数は国内有数ではないでしょうか。

公立豊岡病院は豊岡市を母体とした公立経営で、ドクターヘリ事業は関西広域連合が主体として運営しています。関西広域連合（近畿 2 府 4 県と鳥取県、徳島県、三重県、福井県）の中の兵庫県北部、鳥取県全域、京都府北部を活動範囲としており、その対象人口は約 70 万人です。



今回取材させていただいた豊岡病院



但馬救命救急センターのドクターヘリ

ドクターヘリの出動は各地域の救急本部への救急要請があった時点で判断されます。救急本部から但馬救命救急センターへドクターヘリ要請があれば即座に離陸し、患者の状態は往路の飛行中に救急隊からの無線で確認します。着陸地点は現場の救急隊員が行い、それに従ってヘリが着陸します。現場滞在を短縮する方針で、現状の申し送りを受けると直ちに離陸し、ルート確保やエコー検査も含めて患者への対応は搬送中のヘリの中で行われるそうです。病院では、それに応じて X 線撮影や CT 検査が準備されています。必要な処置は（挿管も含めて）ヘリの中で行うので、ヘリからダイレクト

に CT 室に搬送という場合も珍しくないそうです。

豊岡病院放射線科の一般撮影は 3 台で、12 月より全て FPD での撮影となる予定です。CT は 16 列と 64 列の 2 台、MR は 1.5T が 2 台、アンギオ装置は 3 室あります。一般撮影室と CT 室とアンギオ室は救急部と直結した配置で、救急室から即座に撮影が可能です。

京都府民が但馬救命救急センターにお世話になったのは、個別の救急要請で搬送された例も多数ありますが、近年で記憶に新しいものでは福知山花火事故があります。

当事故ではすでに福知山市民病院に患者のほとんどが搬送されており、京都第一赤十字病院、兵庫県災害医療センター、千里救命救急センター、姫路医療センターなどの DMAT 隊やドクターカーが集結していました。但馬救命救急センターからも（夜間であり、ヘリの活動時間外なので）ドクターカーが来ていただき、数名の患者を受け入れていただきました。

京放技の理事でもある京丹後市立弥生病院の城下克明氏によると、丹後地方ではこのドクターヘリの飛行を見かけることはよくあり、多ければ月に 10 回ほど見かけることもあるそうです。各地域にある小中学校のグラウンドは着陸地点に適しており、小中学生はよく救急搬送・離着陸を目撃しているそうです。その他、駐車場、球技場にもよく着陸しているのを目撃されるそうです。

日本は高齢化社会を迎えています、その高齢者は病院の少ない田舎に多くが住んでおられます。そういった現状を考えると、ドクターヘリやドクターカーは今後、日本の社会にますます求められる存在になるのではないのでしょうか。

今回、突然の取材を快く引き受けていただきました、豊岡病院放射線科の西浦科長と施設をくまなく説明していただいた江尻技師に感謝申し上げます。

第 7 回理事会報告

平成 26 年 11 月 8 日

議長に山本理事、書記に原口理事を選任し午後 16 時 00 分より議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告及び計画 (轟会長)**

(経過報告)

- ・ 10 月 11 日 日本放射線技師会第 4 回理事会 (鈴鹿医療科学大学)
- ・ 10 月 19 日 くらしと健康展 (京都府医師会館)
- ・ 10 月 25～26 日 東北地域学術大会(轟出席) (新潟)
- ・ 10 月 28 日 中間監査 (京放技事務所)
- ・ 全国学術大会委員会 (京放技事務所)
- ・ 11 月 1 日 レントゲン週間の催し(和歌山)
- ・ 11 月 1～2 日 中部地域学術大会(河本出席) (名古屋)
- ・ 九州地域学術大会(原口出席) (北九州市)
- ・ 11 月 4 日 関西広域連合原子力災害説明会 (日放技会議室)
- ・ 全国会長会議 (ホテルニューオータニ)
- ・ 診療放射線技師制度に関する議員懇話会設立総会 (ホテルニューオータニ)
- ・ 11 月 8 日 平成 26 年度京放技第 7 回理事会 (京放技会議室)
- ・ (計画)
- ・ 11 月 16 日 静脈注射(針刺しを除く)講習会 (京都第二赤十字病院)
- ・ 11 月 21 日 京都私立病院協会創立 50 周年記念式典 (ホテルオークラ)
- ・ 11 月 24 日 兵庫県学術大会 (加古川市)
- ・ 京都府原子力防災訓練参加 (京丹波町)
- ・ 12 月 6 日 平成 26 年度京放技第 8 回理事会 (京放技会議室)
- ・ 12 月 7 日 日本放射線技師会教育委員幹事会 (日放技事務所)
- ・ 12 月 15 日 公益法人立ち入り監査 (京放技事務所)
- ・ 12 月 19 日 全国学術大会システム委員会 (京放技事務所)
- ・ 12 月 20 日 日本放射線技師会第 5 回理事会 (日放技事務所)
- ・ 12 月 21 日 全国地域理事会議・研修会 (日放技事務所)
- ・ 12 月 24 日 総務委員会 (京放技事務所)
- 平成 27 年
- ・ 1 月 10 日 平成 26 年度京放技第 9 回理事会 (京放技会議室)
- ・ 1 月 17 日 私立病院協会新年会
- ・ 1 月 24 日 府民公開講座および新年会 (ルビノ京都堀川)
- (その他)
- ・ 10 月 25～26 日 東北地域学術大会に轟出席予定 (新潟)
- ・ 11 月 1～2 日 中日本地域学術大会に轟又は河本出席予定 (名古屋)
- ・ 11 月 1～2 日 九州地域学術大会に原口出席予定 (福岡)

参考

- (1) 京都府知事表敬訪問 (12 月～2 月) を検討
- (2) 公益法人立ち入り監査 (京都府) 12 月 15 日 (月) 13 時から
- (3) 全国大会打ち合わせ (日放技との) 12 月 19 日
- (4) 総務委員会 11 月と 12 月初旬と下旬の 3 回開催
公益法人立ち入り監査 (京都府) と来年度事業計画
- (5) 全国学術大会への協力依頼を京都府下 100 施設宛てに発送
- (6) 府民公開講座の書類作成

2) 委員会報告及び計画**【庶務】皿谷理事**

- ・ 会員数 10 月 31 日現在 500 名 (先々月+1)
- ・ (内訳) 名誉会員 4 名、正会員 469 名、賛助会員 27 名 (社)
- ・ 新入会 1 名
- ・ ※平成 26 年度新入会累計 21 名 (再入会 1 名含む)

- ・ 委員会報告
- ・ 対外文書 100 件、発刊文書 4 件 (10 月 1 日～10 月 31 日)
- ・ 新入会 2 名、転入会 1 名の承認

【財務】渡里理事

- ・ 会費納入状況 (平成 26 年 10 月 31 日現在)
- ・ 平成 26 年度分を 41 名が納入 合計 327 名 (69.1%)
- ・ 平成 25 年度分未納者 11 名、平成 24 年度分未納者 4 名
- ・ 平成 26 年度 9 月会計収支報告書
- ・ 10 月 23 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- ・ 10 月 30 日 財務委員会開催 (京放技事務所)
- ・ 災害による会費免除の申請が日放技で承認された京放技会員の京放技会費免除を承認。
- ・ 出産育児休業されて日放技の会費免除承認された京放技会員の京放技会費免除を承認。

【学術】原口理事

- ・ 10 月 15 日 学術委員会 (京放技事務所)

- ・ 10 月 26 日 基礎講習会「CT 検査」に講師として原口参加 (兵庫医科大学)
- ・ 11 月 1～2 日 九州放射線医療技術学術大会に全国大会案内で原口が参加 (北九州国際会議場)
- ・ 11 月 8 日 女性技師のミーティング開催
- ・ 11 月 16 日 静脈注射(針刺しを除く)講習会予定 (京都第二赤十字病院)

平成 27 年

- ・ 1 月 24 日 府民公開講座予定 (ルビノ京都堀川)
- ・ 2 月 15 日 近畿地域放射線技師会学術大会開催予定(奈良社会福祉総合センター)
- ・ 3 月 第 31 回日放技学術大会実行委員会予定

【編集】中島理事

- ・ 10 月 25 日 11 月号ニュース校了 (田辺中央病院)
- ・ 10 月 26 日 くらしと健康展参加 (京都府医師会館)
- ・ 10 月 27 日 公立豊岡病院取材 (公立豊岡病院)
- ・ 11 月 17 日 12 月号ニュース編集作業予定 (田辺中央病院)
- ・ 11 月 24 日 京都府原子力防災訓練参加 (府立丹波自然運動公園)

【広報・渉外】新井理事 (庶務理事代読)

- ・ 10 月 25 日 「第 41 回くらしと健康展」設営・準備 (京都府医師会館会場)
- ・ 10 月 26 日 「第 41 回くらしと健康展」出務・撤収 (京都府医師会館会場)
- ・ 当コーナーへは来場者数総合計 81 名 (昨年 63 名より 18 名増)
- ・ 第 2 回実行委員会にて事業詳細報告予定
- ・ 11 月 7 日 「第 41 回くらしと健康展」放射線部門報告書を京都府医師会担当者へメールにて提出
- ・ 「平成 27 年度広報・渉外事業計画・予算書案」提出
- ・ 11 月 12 日 「第 41 回くらしと健康展」第 2 回実行委員会出席予定 (京都府医師会館)

- ・ 12 月中旬までに「無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望」書作製予定
- ・ 平成 27 年 2 月上旬に関係機関に送付予定

【組織調査】久保田理事 (庶務理事代読)

- ・ 10 月 23 日 西南部地区委員会開催
- ・ 3 月 15or22 日 学遊会(BBQ)予定 レクリエーション企画中

【厚生】中川理事

平成 27 年

- ・ 1 月 24 日 平成 27 年度新年会開催予定 (ルビノ京都堀川)
- ・ 2 月 1 日 近畿地域囲碁大会開催予定 (和歌山県)
- ・ 近畿囲碁大会の京都からの出場者が 5 名であり、毎年行っていた京都府予選会は行わない

【情報】中田理事

- ・ 10 月 14 日 学術大会アプリ、アトラス社 CONFIT に関して大分県放射線技師会ホームページ委員会理事と情報交換
- ・ 11 月 2 日 京放技ニュース PDF を掲載

【管理士】山根理事

- ・ 10 月 26 日 くらしと健康展へ放射線相談員として参加 (京都府医師会館)
- ・ 10 月 28 日 京都府原子力総合防災訓練会議出席 (府立丹波自然運動公園体育館)
- ・ 10 月 29 日 管理士委員会開催 (京放技会議室)
- ・ 11 月 15・16 日 日放技管理士分科会更新会議 (日放技事務所)
- ・ 11 月 23 日 京都府原子力防災訓練準備出務予定 (府立丹波自然運動公園)
- ・ 11 月 24 日 京都府原子力防災訓練参加予定 (府立丹波自然運動公園)

【受賞者選考委員会】河本副会長

- ・ 勤続 50 年表彰者として 1 名、30 年表彰者として 7 名が該当しているが、その中の 1 名は会費未納状態であるので、今月末まで未納状態であれば、その方を除いて日放技へ申請する予定。

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】山本理事**

- ・ 10 月 20 日 近畿学術大会の演題・参加募集のお知らせを配信

【中地区】楢理事

- ・ 10 月 17 日 連絡網にて近畿地域放射線技師会学術大会の演題提出の呼びかけを配信

- ・ 11 月 6 日 連絡網にて、抜針講習会への追加申し込みのお知らせを配信
- ・ 委員会開催のための日程調整中
- ・ 地区委員調整中であった中 2 班 地区委員に森 奏恵(京都通信病院)の承認

【東地区】長岡理事

- ・ 10 月 14 日 静脈注射講習会開催の案内、近畿学術大会の参加・演題募集案内、会費未納者への催促を地区委員に配信
- ・ 11 月中に委員会開催予定
- ・ 東 3 班地区委員の異動に伴い、同班に勝間 弘和(音羽病院)の承認

【西地区】平井理事

- ・ 10 月 20 日 西地区メール
- ・ 10 月 23 日 担当地区委員にメールにて会費未納入者に早期納入を依頼
- ・ 10 月 23 日 西地区一斉メールにて近畿地域放射線技師学術大会の簡易内容と演題・参加のお願い

【南地区】大西理事

- ・ 11 月 5 日 近畿地域放射線技師学術大会の演題・参加申し込み願いをメールにて配信
委員会の日程調整と静脈注射（針刺しを除く）講習会追加申し込みのお知らせをメール配信
勤続 30 年表彰対象の方に連絡
- ・ 11 月下旬か 12 月中旬までに第 2 回委員会を開催予定

【両丹地区】上田理事

- ・ 10 月 17 日 近畿学術大会の演題・参加募集を配信
- ・ 10 月 20 日 京都府原子力総合防災訓練参加者募集の配信
研修会用抄録受け取り
- ・ 10 月 25 日 両丹参加者連絡と原子力総合防災訓練内容変更を配信
平成 27 年
- ・ 1 月 17 日 京放技冬季研修会予定 (舞鶴赤十字病院)

【西南部地区】松本理事

- ・ 10 月 22 日 委員会の日程確認メールを各地区委員に送信
- ・ 10 月 23 日 委員会を開催
- ・ 1 月か 2 月に委員会開催予定

III. その他

1) 中間監査について

田城監事、武部監事より平成 26 年度中間監査が報告された。

2) 近畿学術大会について (原口理事)

今年度の地区合同研修会は開催しない予定なので、その分の演題を学術大会へ登録するように要望。

3) 第 31 回日本診療放射線技師学術大会について (北村副会長)

特別講演や教育講演等の講師へ依頼状を発送している。受付けシステムでは、参加登録と情報交換会の登録は日放技のシステムで、演題発表や宿泊登録システムは京放技から JTB に依頼する予定である。この方式は前回の大分大会でも採用されたが、2 つのシステムを同時採用するため、大分大会では同一人物でも会員番号の打ち間違い等でトラブルになっている。最終的には日放技のシステムに登録された情報と JTB のシステムに登録された情報の調合性を確認しなければいけない。12 月 19 日のシステム委員会にて調合性の確認も含めて、日放技役員と共に決定する予定。

4) 関西広域連合との原子力防災協定について (轟会長)

11 月 4 日に日放技にて行われた原子力対策防災連合説明会に参加した。関西 2 府 4 県と鳥取県、徳島県、福井県、三重県で関西広域連合を形成しており、この関西広域連合より日放技へ原子力災害協定の締結を要請している。原子力災害発生時は急時防護措置を準備する区域：UPZ の 30km 圏内より、広域連合の 2 府 8 県へ 52 万人の避難常民が発生する想定。協定締結により、原子力災害発生時には近畿放射線技師会より避難住民のサーベイ派遣を行う。そのときは関西広域連合からの要請なので、各府県庁より技師会と派遣者の施設へ、公文書での要請になる予定。保障や費用面の保障も各府県が行う予定。医師会、私立病院協会も参加する計画である。

5) 日放技第 4 回理事会報告 (轟会長)

X 線発見 120 周年記念式典が平成 27 年 6 月 5 日にパレスホテル東京にて開催される。業務拡大に伴う統一講習会の開催として、16 時間、全国 8 地域において 1 会場 60 名程度として実施、受講料は非会員 60,000 万円、会員 15,000 円とし、静脈注射講習会や注腸講習会修了者はその分の料金と時間を免除することとする(全て予定)。3 年の猶予が与えられる予定だが、それまでに京都府下約 900 名の診療放射線技師全員が受講できるように計画しなければいけない。会員と非会員の料金の差は、注腸ファントム、注射ファントムに莫大な予算がかかるので、会費を支払っていない非会員にはその分の負担を求めた結果である。

次回理事会は平成 26 年 12 月 6 日(土)京放技会議室にて開催予定

以上、各議案について採択し承認された。(文責：原口)

会費納入のお願い

納入がまだの方は、早急にお願いします。

▶ 理事会で決定、報告された重要事項

- (案) 法改正に伴う 3 つの講習会をまとめて統一講習会とし、2 日間の開催とする。講習料は 1 万 5 千円 (非会員 6 万円) で、すでに各講習会を済ませている者に関してはそれぞれの時間と料金を免除する。

▶ 12 月以降の京放技活動

平成 27 年

- 1 月 24 日(土) 府民公開講座 (第 556 回研修会) 及び新年会 ルビノ京都堀川
- 2 月 1 日(日) 近畿地域放射線技師会囲碁大会 和歌山県
- 2 月 15 日(日) 近畿地域放射線技師会学術大会 社会福祉総合センター (奈良県)

会 員 異 動

【新入会】

花井 悠起 (ハナイ ユウキ) 京都市立病院 (中 5) 他 1 名と転入会 1 名